

【事業名】

狩野川流域下水道事業(西部処理区)

【事業概要】

平成6年に沼津市、清水町、長泉町が、平成10年に裾野市、平成14年に三島市が供用開始し、令和6年度末で30年が経過しました。

浄化センターの維持管理をしていく中で、各施設の能力を確保するため、定期的な日常点検や修繕を実施しています。

平成30年度まで「長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設を計画的に更新してきましたが、令和元年度以降は「ストックマネジメント計画」に基づき新たに計画的な更新を実施しています。

【事業効果】

狩野川等の公共用水域の水質の保全及び地域住民の公衆衛生の向上

【事業計画】

計画年度 : 昭和50年～令和10年
 計画処理面積 : 3,831ha ※現況=3,017ha(令和5年度末)
 計画処理人口 : 197,100人 ※現況=188,895人(令和5年度末)
 計画処理能力 : 114,200m³/日(日最大=事業計画) ※現況=81,000m³/日



【令和7年度事業】

自家発電設備更新工事、管理棟電気設備更新工事、沈砂池ポンプ棟直流電源設備更新工事
 送風機棟直流電源設備更新工事、污泥処理棟・機械濃縮棟直流電源設備更新工事、調整池工事
 機械濃縮棟機械設備長寿命化工事、水処理棟ほか防食基本設計、管路耐震診断業務委託ほか

【今後の予定】

ストックマネジメント計画に基づく計画的な施設の更新

